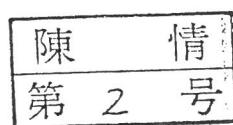


# 陳情書

本会議一般質問などの審議時間を延長することなく、定時  
に終了することを求める陳情  
る



(件名)

# 本会議一般質問などの審議時間を延長することなく、定時に終了することを求める陳情

る

(趣旨)

1. 陳情の第一の目的は、前回「一問一答制」を陳情させていただいたことと同様に、三鷹市議会に実りある審議を求めてです。

一般質問は、9：30から5：00まで、昼休み、および若干の休憩をもってしても、審議延長によって、続いているのが通常です。たった二日間で終了させたいために、延長もやむなしが慣行になっているように思えます。でも、市民にとって重要な本会議の一般質問が、今のような長時間というのは、個々の議員の限界を超えているように見えます。居眠りや他議員の質疑に注意を払い切れないのは無理ないことです。各議員の問題意識の発表会に終わらせるだけでなく、さらなる議論の活性化という視点から、安易に延長するのではなく、翌日の審議にまわすなどの運営を考えいただきたいです。

2. 第二の目的は、議員の「働き方改革」です。

市議会議員も一市民、家庭があり、家族がいることを考えれば、無理な労働時間設定は、議員自身の生産性を下げ、議員を取り巻く家庭環境に多大な負担をかけるものと考えます。議員は定例会以外に登庁する自由度があるようです。でも、土日祝日、時間外のイベントや市民との交流等で、熱心に活動をしている議員を見かけます。だからこそ、定例会期中は、定時開始、定時終了に配慮した議会運営に努めていただきたいです。そしてそれ以外の時間を有効に使って、より多くの市民と語り合い、三鷹市政の糧となるような見聞を広めていただきたいです。

3. 第三の目的に、議会運営に多様性を重視する価値観の反映を求めます。

昨年の市議会選挙で、多くの若い議員が選ばされました。小泉環境相が育休宣言をし、これからは、女性議員だけでなく、男性議員も育休取得が一般化してきました。また介護も、全てを「嫁」が担わず、男女それぞれ、自分の親を介護する流れになってきています。育児しかしり、介護しかしり、男女の別なく公平に分担される時代です。子育てはもちろん介護、病気など事情があって無理が利かない人たちや、多様な価値観を持った人々と共に生きるからこそ、無理を是正する発想や商品、サービスが、次々と新しく生まれ、社会を活性化させると言われます。現代社会が多様性を尊ぶ方向に進路をとる先陣を切って、多様な議員が困難を乗り越えて活躍できる、「共感力」豊かな三鷹市議会であらんことを望みます。

令和2年 2月 20日

(宛先)

三鷹市議会議長 石井 良司 殿

(提出者)

住所 三鷹市

氏名 藤井 ルリ

電話